2014年9月27日(土) 日本大学理工学部 駿河台校舎1号館121会議室日本大学理工学部 理工学研究所・東日本大震災復興支援室主催第10回 日本大学理工学部理工学研究所講演会東日本大震災の復興支援と今後の課題

海岸エコトーンモニタリングが示す自然共存復興へのアプローチ

平吹 喜彦
東北学院大学 教養学部 地域構想学科
南蒲生/砂浜海岸エコトーンモニタリングネットワーク

4つのトピック 1. はじめに 2011年 3月11日の想いをつなぐ 2. 仙台湾岸の砂浜海岸エコトーン 海と陸、河川が接合し、不安定・特殊・多様な立地・生物・生態系が混在 人為とのかかわりの中で変動してきた生態系連環・里浜領域 3. 立地と植生、生態系の破壊と自律的修復 南蒲生/砂浜海岸エコトーンモニタリングの事例 着眼すべきは、'不均一さ'と'速さ' 4. 残存する自然立地・野生生物を源泉とする海岸エコトーン復興 かつてない、パワフル×広域的な復興工事に対する懸念 統合的×自然立地的×順応的な視点としくみが不可欠 多様な「ふるさとの生きもの」を思いやる心・知恵・技法を持ち寄る

































































